

令和3年12月20日

山口市議会議長 伊藤 斉 様

山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員長 野村 幹 男

議会改革に関する検討結果について（答申①）

令和2年1月14日付けで議長から諮問のありました山口市議会改革に関する事項のうち、一定の結論に達した事項について、下記のとおり答申いたします。

記

1 答申を行う諮問事項

各会派から提案された議会活動の充実強化のための改革に関する事項の中で、議長が必要と認めた事項のうちの以下の項目

諮問事項27

議会図書室（新庁舎整備に向けた図書室のあり方）

2 答申内容

別添のとおり

諮問事項 27	議会図書室（新庁舎整備に向けた図書室のあり方）
提案趣旨等	<p>調査研究活動のための方策のひとつとして、議会図書室の充実を提案する。現状は資料の保管のみとなっており、図書室の機能とは言えない状況である。</p> <p>新庁舎の建て替えがあることから、図書室のあり方を検討し、どのような図書室が良いのか、蔵書のあり方を含め調査研究をすべきと考える。</p>
答申内容	<p>新本庁舎の建設に当たっては、議員の調査研究活動の充実に資することなどを目的とし、議会図書室の整備に関する基本的考え方として次の3点を執行部に提示し、この考え方を踏まえた基本設計の最終案がこのたび示されたところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専ら議員の調査研究に資する資料室として附置 ・市民に対し、広く議会をアピールするための配慮 ・議会図書室のレファレンス機能の充実強化（議会図書室の運営方法） <p>今後は、令和6年度の新本庁舎棟の竣工に向けて本格化する建設工事等と歩調を合わせつつ、議会としての具体的な議会図書室の運用等をイメージしながら検討を進めていく必要がある。その際には、さきの議会改革検討協議会の答申にある4点について、議会図書室の機能充実に必要不可欠なものであるという認識のもと、その趣旨を十分踏まえた上での検討を進めることとし、検討が本格化する改選後の議会においても継続した考えで進めていくべきであるとの結論に至った。</p> <p>〔議会改革検討協議会の答申内容〕</p> <p>議会図書室の機能充実が必要であるとの共通認識のもと、新庁舎整備に向けた議会図書室のあり方等を検討する際には、以下の4点についての検討が必要との結論に至った。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）レファレンス機能の検討 <ul style="list-style-type: none"> 司書の配置、あるいはパソコン等の情報端末の設置等によるレファレンス機能の検討 （2）市立図書館、県立図書館等との連携 <ul style="list-style-type: none"> 膨大な蔵書数を誇る公立図書館等と連携した所蔵資料等の検索機能の検討 （3）市民への情報開示機能の付加 <ul style="list-style-type: none"> 議員だけでなく、市民及び職員の利用も考慮した設置場所等の検討 （4）必要な図書をそろえるための予算の確保 <ul style="list-style-type: none"> 図書・資料を充実させるために必要な予算の確保
附帯意見等	